

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成28年8月4日 (2016.8.4)

【公開番号】特開2015-10175(P2015-10175A)

【公開日】平成27年1月19日 (2015.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2015-004

【出願番号】特願2013-137052(P2013-137052)

【国際特許分類】

C 0 9 B 67/20 (2006.01)

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

G 0 3 G 9/09 (2006.01)

C 0 9 B 67/46 (2006.01)

C 0 9 D 17/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 B 67/20 L

G 0 3 G 9/08 3 8 1

G 0 3 G 9/08 3 6 1

G 0 3 G 9/08 3 8 4

C 0 9 B 67/46 A

C 0 9 D 17/00

C 0 9 B 67/20 K

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月21日 (2016.6.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

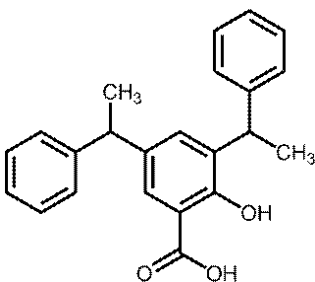
有機溶剤、顔料及び顔料分散剤を混合し、攪拌することによって有機溶剤中に顔料を分散させる顔料分散方法であって、

前記顔料が、C . I . Pigment Red 31、C . I . Pigment Red 150、C . I . Pigment Red 176 及び C . I . Pigment Red 269 からなる群より選ばれる少なくとも一つの顔料であり、

前記顔料分散剤は、下記式 (1) で表される芳香族オキシカルボン酸であることを特徴とする顔料分散方法。

式 (1)

【化 1】



【請求項 2】

前記顔料と前記芳香族オキシカルボン酸の質量比（顔料の質量：芳香族オキシカルボン酸の質量）が、99.0：1.0乃至70.0：30.0であることを特徴とする請求項1に記載の顔料分散方法。

【請求項3】

前記有機溶剤が、芳香族系の有機溶剤であることを特徴とする請求項1又は2に記載の顔料分散方法。

【請求項4】

前記芳香族系の有機溶剤が、スチレンであることを特徴とする請求項3に記載の顔料分散方法。

【請求項5】

請求項1乃至4のいずれか1項に記載の顔料分散方法により、有機溶剤中に顔料を分散させることで顔料分散液を得る顔料分散工程を有することを特徴とするトナーの製造方法。

【請求項6】

前記有機溶剤が、スチレンを主成分とする重合性単量体を有し、
前記顔料分散液を水系媒体中に分散して顔料分散液の粒子を生成する造粒工程、及び、
得られた顔料分散液の粒子中の前記重合性単量体を重合する重合工程
を有することを特徴とする請求項5に記載のトナーの製造方法。

【請求項7】

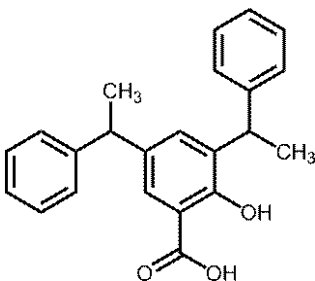
前記顔料分散液に、結着樹脂を溶解する工程、
結着樹脂が溶解した顔料分散液を水系媒体中に分散して顔料分散液の粒子を生成する造粒工程、及び、
得られた顔料分散液の粒子中から前記有機溶剤を除去する脱溶剤工程
を有することを特徴とする請求項5に記載のトナーの製造方法。

【請求項8】

有機溶剤中に顔料を分散させるための顔料分散剤であって、
前記顔料が、C.I. Pigment Red 31、C.I. Pigment Red 150、C.I. Pigment Red 176及びC.I. Pigment Red 269からなる群より選ばれる少なくとも一つの顔料であり、
前記顔料分散剤が、下記式（1）で示される芳香族オキシカルボン酸であることを特徴とする顔料分散剤。

式（1）

【化2】



【請求項9】

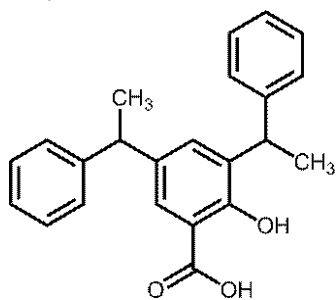
有機溶剤、前記有機溶剤中に分散した顔料分散剤および顔料を有する顔料分散液であって、

前記顔料が、C.I. Pigment Red 31、C.I. Pigment Red 150、C.I. Pigment Red 176及びC.I. Pigment Red 269からなる群より選ばれる少なくとも一つの顔料であり、

前記顔料分散剤が、下記式（1）で表される芳香族オキシカルボン酸であることを特徴とする顔料分散液。

式（1）

【化 3】



【請求項 10】

前記顔料と前記芳香族オキシカルボン酸の質量比（顔料の質量：芳香族オキシカルボン酸の質量）が、99.0：1.0乃至70.0：30.0であることを特徴とする請求項9に記載の顔料分散液。

【請求項 11】

前記有機溶剤が、芳香族系の有機溶剤であることを特徴とする請求項9又は10に記載の顔料分散液。

【請求項 12】

前記芳香族系の有機溶剤が、スチレンであることを特徴とする請求項11に記載の顔料分散液。